

第13回 (仮称) 市民センター建設市民懇談会 会議録

- 1 日 時 令和5年2月27日(月曜日) 10:00~10:55
- 2 場 所 市民会館 502号室
- 3 出席者 山口哲子会長、牧田実副会長、佐藤玲子委員、池澤龍三委員、菅野廣男委員、引地洲夫委員、舟山信悟委員、藤田修一委員、阿部隆夫委員、佐藤祀男委員、阿部國治委員、原田紀之委員、霞 朝子委員、木暮照正委員、阿部勢津子委員
- 4 内 容
 - (1) 開会
 - (2) 議事
 - (3) その他
 - (4) 閉会
- 5 概 要 議事内容について事務局説明後、質疑応答・意見交換
- 6 委員の主な発言

○委 員

大体イメージが湧いてきたのでよかったが、一番危惧するのは、学習センターが管理するという部分について、これだけの規模を管理するにあたり、職員がシフト制を組まなくてはならないと考えられ、他の学習センターを指導する立場でそれができるのかという点。他の地区館もシフト制に移行して、全市的に学習センターの管理運営が変わるのであれば別だが、中央だけがシフト制になり、大規模な設備も管理しないといけなくなると学習センターの職員は常駐するにしても、管理は別の管理体制をとるのがコスト的にもよいのではないかと考えている。

○委 員

貸館の管理も学習センターが担うとなるとかなり厳しい状況になると思う。使用料の設定に関しても、他の施設との比較も含め、きめ細かく対応してもらいたい。

○事務局

学習センターの貸館では、使用団体登録をされることで、使用料が全額減免されている。こういう状況の中、中央学習センターは市民センターに入ることになるので、どのような姿が望ましいか検討中。

○委 員

使用料について、町内会の集まりでも、市民会館では有料で中央学習センターを利用すると減免であった。同じ公共施設でも取り扱いが異なるのは分かりづらいと感じる。今度は同じ市民センターに入るので、中央学習センターのように減免になる方向で整理してもらいたい。

○事務局

施設の設置目的によって、減免の対象は変わってくることについては、ご理解いただきたい。使用料については現在検討中であるが、頂いたご意見も含めて今後検討していく。

○委員

登録団体になれば、使用料は全額免除という方向でお願いしたい。

○委員

敬老センターについて、60才以上は無料で使えていたが、市民会館は有料。市民センターを利用するにあたって、60歳以上であれば無料の部屋があるとか、その辺を含めて検討していただきたい。

○委員

駐車場について、立体駐車場が4層5段になったので、拡充されることについては問題がないと思っている。しかし、今の本庁舎の交通誘導員の対応について、以前は民間の方がやっていたが、現在は職員がやっている。立駐の計画変更がされ、駐車台数は増えるが、いかに誘導をきちんとするかということは大切である。本庁舎の看板ひとつとってもきちんと整備されておらず、車社会の中では、市役所の誘導員は市役所の顔だと思っている。昨年までは、素晴らしい方が1人居て、よく声をかけてくれたが今はいなくなってしまった。どういう理由があったか分からないが、改めてきちんとした管理体制の中でやってもらいたい。どれだけ立派な建物ができても誘導員や案内板の設置をきちんとしないと、渋滞になってしまうのではないかとと思っている。

○委員

確かにある時から誘導員がいなくなり、自身も随分よくしてもらったイメージがあったのでどうしたのかというのは感じていた。

○委員

立体駐車場が4層5段に増えるということだが、エレベーターも4層5段分になるのか。

○事務局

4層5段の最上階まで対応したエレベーターになる。なお、駐車可能台数が増えることにより必要なエレベーターの台数についても計算をしているところ。

○委員

競馬場の利用者も本庁舎駐車場を利用していると思うのできちんと整理をしてほしい。また、立体駐車場の計画変更に伴い、工事費がどれだけ増えるのかを参考のために教えていただきたい。

○事務局

競馬場の利用者について、特に福島競馬開催時期には本庁舎駐車場が混雑するという事は把握している。市民センターは土日が開館になるので、利用者

の支障にならないように対策を講じる必要があると考えている。例えば、ゲートを設けるとか、目的外の利用者からは料金を取るとか、いろいろと検討をしていきたい。駐車場の事業費については今般の3月議会で、補正予算の議案を提出している。補正予算額は4億程度であるが、これは資材の高騰分も含めて試算している。一方、事業費の増加に対して、国補助や有利な市債を活用することで財源の負担を可能な限り圧縮できるとの見込みもあり、今回の結論に至った。

○委員

この部屋にあるような椅子や机を含めて、市民センターに設置する備品はすべて新しくするとか、再利用するとか、その辺りはどういう考えなのか。

○事務局

備品については、各施設で量や程度、それから使いやすさ等も含めて調査をした。今後、使えるものは使いたいと思っているが、中には使い勝手の悪いものもあるので、その点については検討を進めていきたい。例えば、3階の平日日中は役所の会議室であることから、そこは現行の備品を使いつつ、市民利用がメインになるところについては新しくする等、整理していきいたいと思っているが、コストについてはできるだけ抑えていきいたいと考えている。

○委員

市民会館にも調理室があり、料理クラブの利用や料理教室を行っていると思うが、市民センターにも調理室があり、例えばフライパンを揃えるにしても、どういう方法で揃えるのか。各部屋にある備品を誰がどのような視点で揃えていくのか。基本的には、その部屋を利用する方々の使い勝手がよいものを揃えていただきたい。

○事務局

備品等については、現在、市民会館の窓口において利用されている方々に対するアンケート調査を行っている。その方々からの意見を参考にしながら、新しい施設にはどのようなものが必要かを検討させていただきたい。アンケートの結果をすべて反映することは難しいと思うが、皆さまのご意見をいただきながら進めていきたい。

○委員

駐車場について、市民センターには大勢の人が訪れることになると思うが、高齢者や子ども連れのお母さん、それから、お急ぎの方もいると思うので、安全安心を第一に、そういうときの駐車場のあり方についても考えていただきたい。

○委員

私からは大きく二つの意見を言わせていただく。一つは、先ほどからの話でもあるように、建設費用はどうしてもかかかっていく傾向にあると思うので、建物は建てて終わりではなく、実際にはその建設費の3倍も4倍も維持管理コストがかかってくるという前提で、いかにランニングコストを下げていくかという点である。施設の管理にあたり、予約をどうするかといったソフト面の話と、建物をどうしていくかというハード面の話があるが、資料に記載されているように、本庁舎と一体に点検・修繕等を実施するということなので、そういった点を強みとする優秀な民間企業もあると思うので、連携しながら効率的にコスト

を削減していく方法もあると思う。

もう一つは、屋外の使い方がこれからは肝になってくると思う。資料にマルシェと書いてあるように多世代で、若い人がここに行きたいと思うような仕組みをいかに作るかが重要であると思う。昨今、パークマネジメント、屋外空間をどう使うかということが非常に面白くなってきている。東京でもよくキッチンカーが集まることがあるが、いかに若者世代が来たくなるようなイベントを作っていくかということ、ソフト面として研究された方がいいかなと思う。

いずれしてもランニングコストを意識しながら、長く維持管理するための工夫を今後していく必要があると思っている。

また、今回の設計では立体駐車場と建物が繋がっていないことで、横の連携が取りづらくなっている。ともすると、利用者がイライラしたり、事故に繋がったりとする原因にもなりうるので、例えば入出庫の際はチケットレスにするとか、いかにスムーズに出入りできるか、先ほど話にも出たようにお金を取る人と取らない人が出てくるとものすごく時間がかかってしまうので、その工夫は民間の駐車場管理されている方々が非常にうまいので、そこをよく研究された方がいいのではないかなと思う。

○委員

今月の中旬に市長講話があり、そのなかで、議場を開放することを考えているとの話があった。資料の6ページを見ると、議会部分は庁舎管理規則により、その他は市民センター条例により規定されるということで各々別になっているが、市長の言うように、議場を開放するならば私も大賛成。というのも、町会の総会をやるにしてもなかなか人が集まらないが、議場で総会をやるとなればみんな喜んで参加するのではないかなと思うので、できれば開放する方向でご検討いただきたい。

○事務局

設計において、多用途での利用ができるように、議場の机や椅子については固定式ではなくて移動できることとしており、さらに、すり鉢状ではなくフラットな床面で計画をしている。実際に議場を開放できるかどうかについては議会との協議が必要になるので、今後検討を進めていきたい。

○委員

8ページのエントランスホールの利用について、学習センターの利用団体等の作品展示は文化祭時だけではなく、年間を通して市民に呼びかける報告書類などを長い期間展示した方が良いと思うので、このスペースの利用について検討をしていただきたい。やはり、学習センターは市民の皆さんの学びの場でもあるので、その点を考慮していただきたい。

— 以上 —